

GIGAスクール構想の下での 校務の情報化の在り方に関する専門家会議

発表資料

スズキ教育ソフト株式会社

2022年 6月 28日

「論点整理に向けた検討資料」 （資料4） について

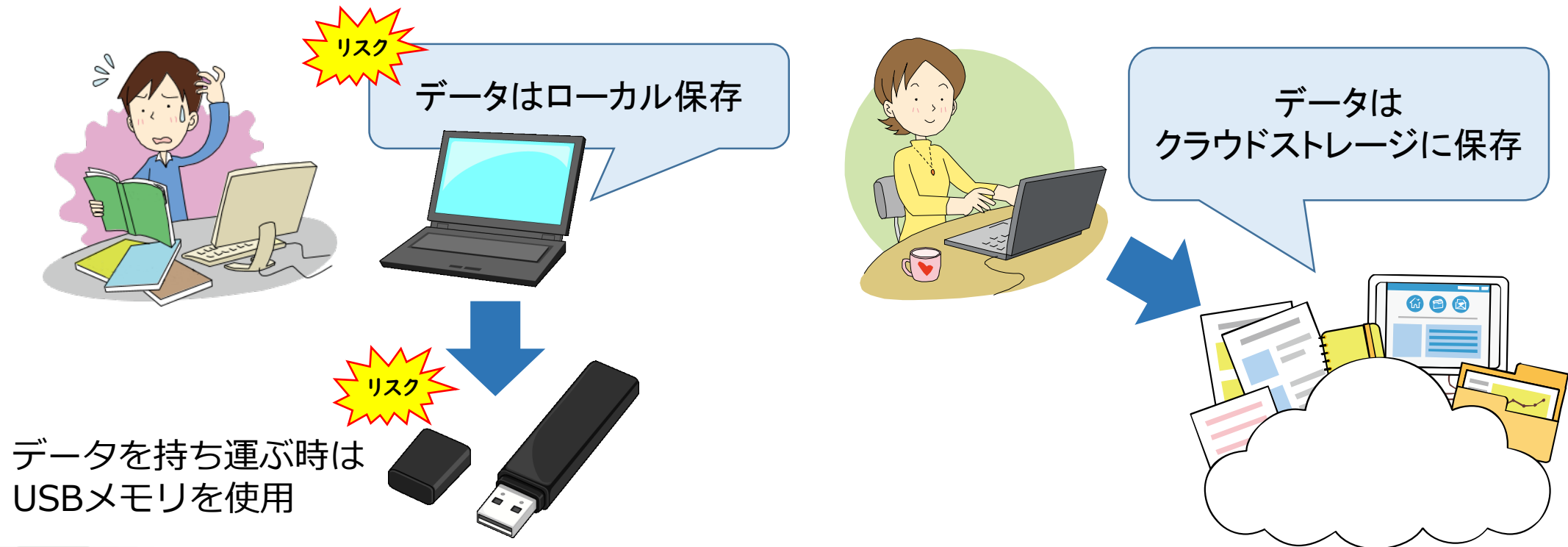
- 1 「短期的に目指すべき目標」 について
- 2 「中期的・段階的に目指すべき目標」 について
- 3 校務支援システムベンダーの目線から見た、目指す上で障害となりうる事柄
- 4 校務支援システムの今後の在り方に関する展望



「短期的に目指すべき目標」について - 1

● 汎用的なクラウドサービスができるところから活用

以前には便利だったことが現在では問題になってしまう



「短期的に目指すべき目標」について -2

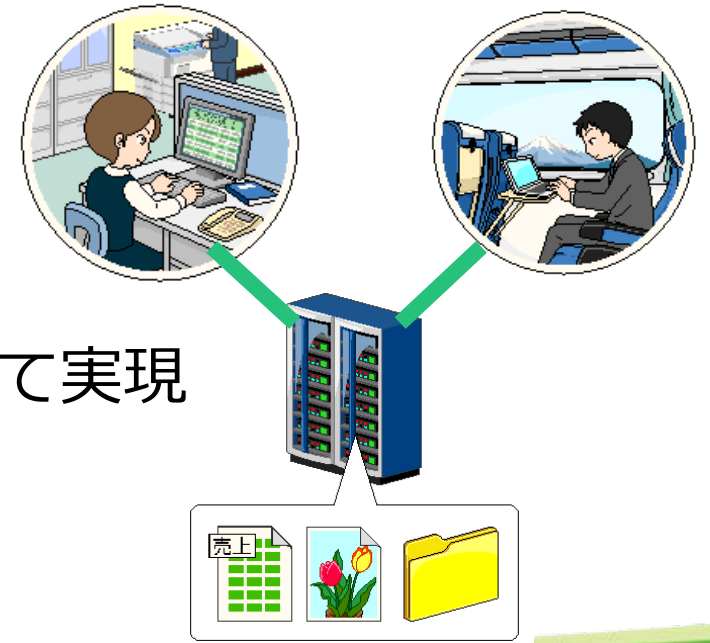
● 大規模災害や感染症による緊急時における業務の継続性確保

校務系ネットワークと学習系ネットワークが分離している環境でも活用

- 一般企業における閉域ネットワークに構築された社内システム
(顧客管理など)

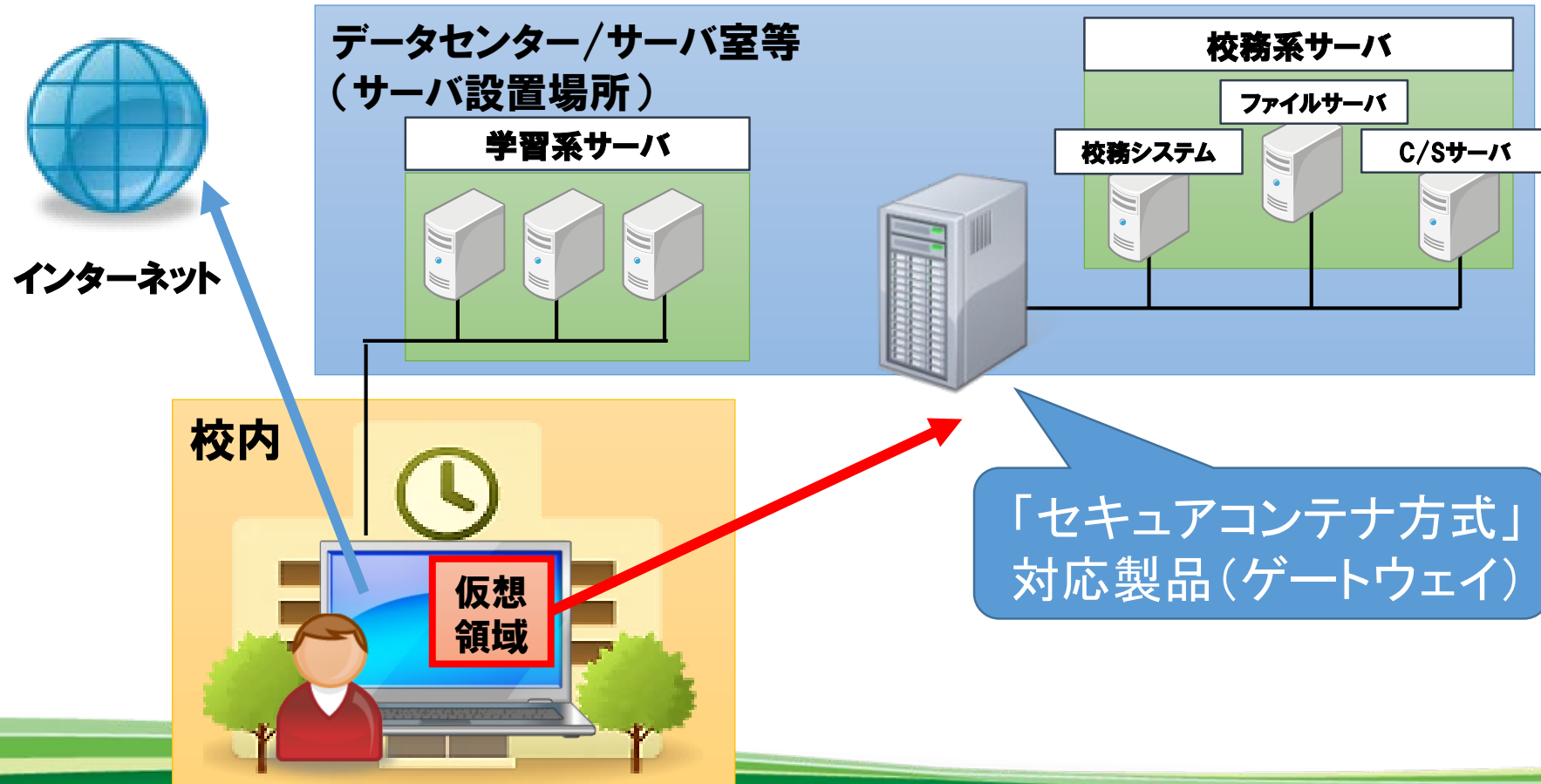
- 出先からアクセスするために使われた技術を活用

- 「SSL-VPN」 + 「セキュアテナ方式」を用いて実現



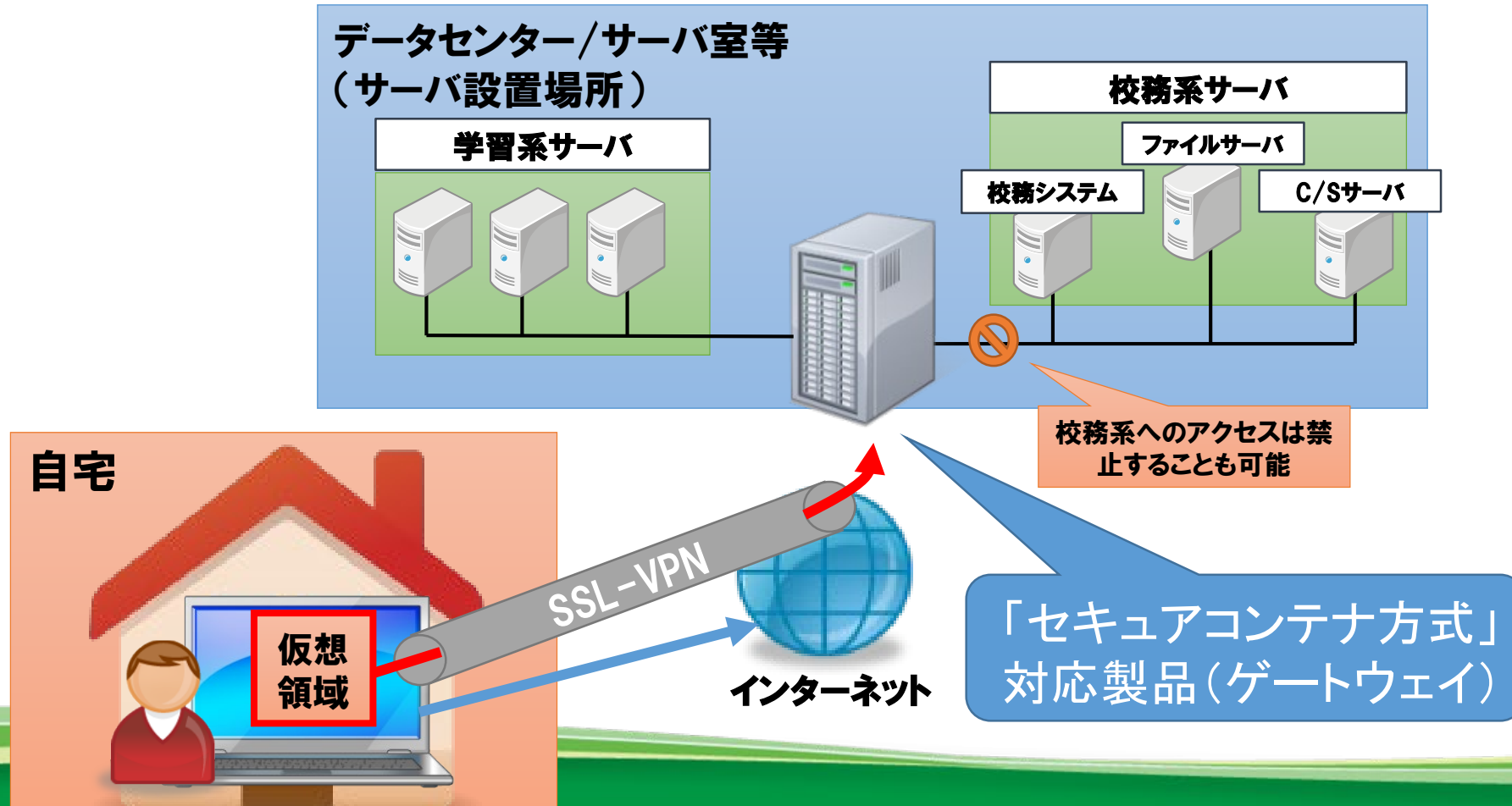
「短期的に目指すべき目標」について -2

- 校内からの利用イメージ



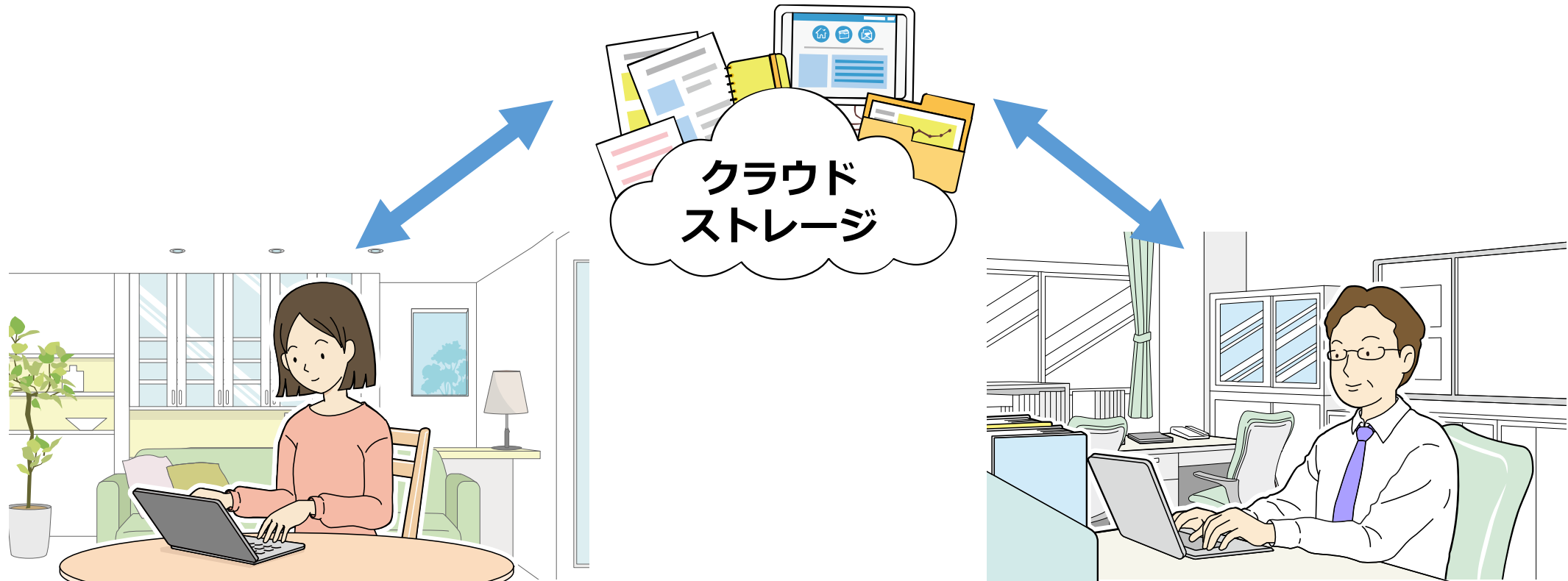
「短期的に目指すべき目標」について -2

- 自宅からの利用イメージ



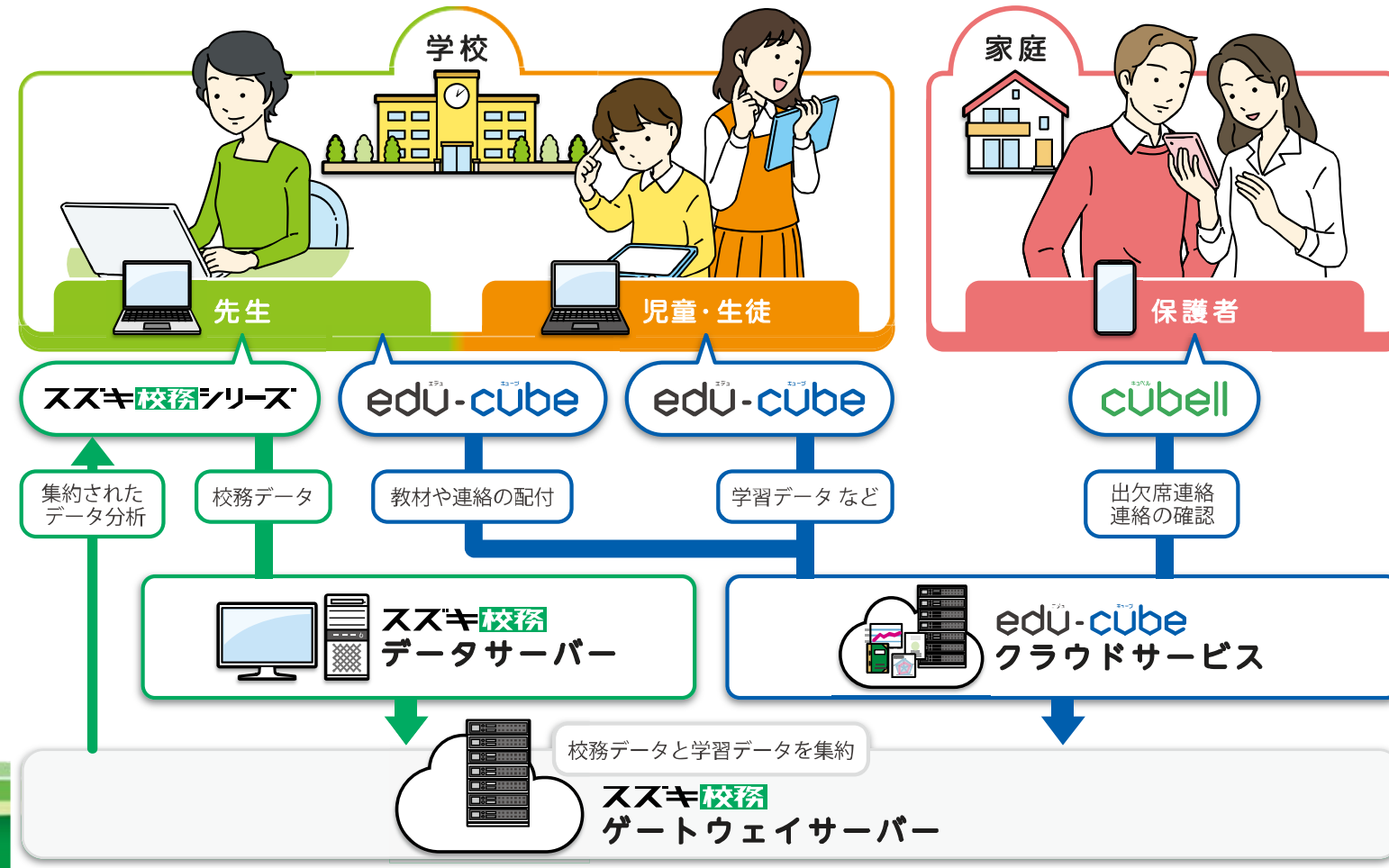
「短期的に目指すべき目標」について - 3

- 授業等におけるクラウドサービスの活用にも良い影響を



「短期的に目指すべき目標」について - 4

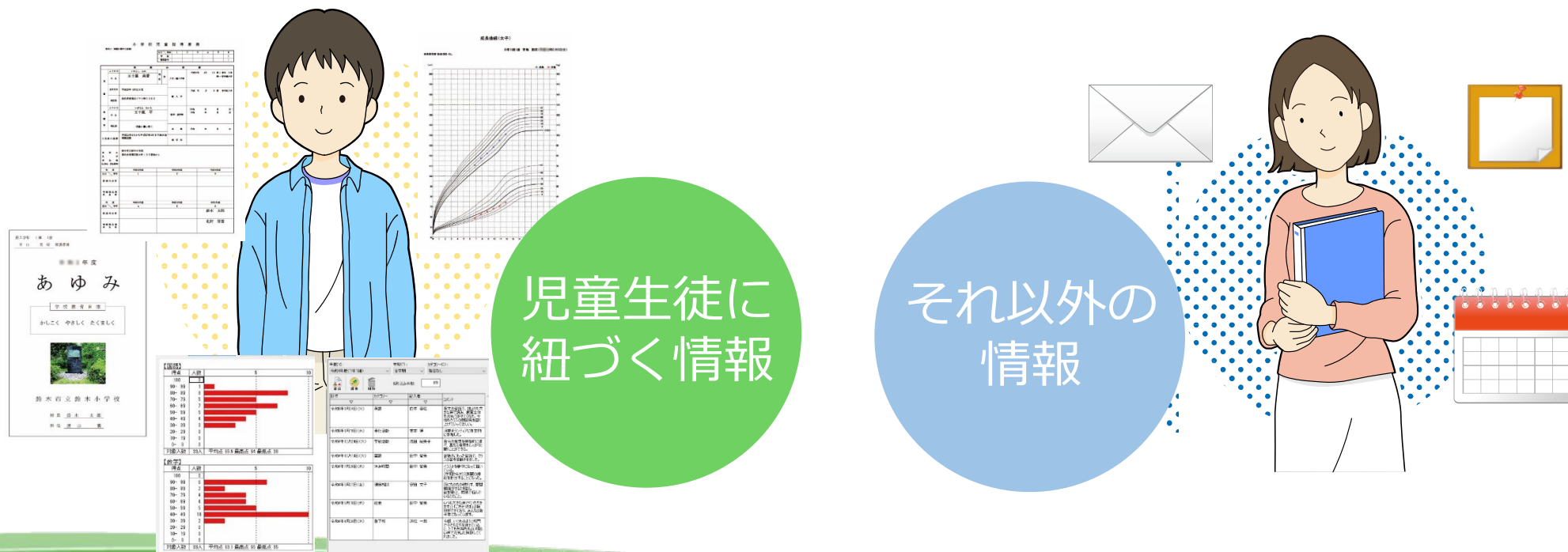
● 保護者等との連絡・情報交換に関する業務の効率化



「短期的に目指すべき目標」について -5

- 既存の校務支援システムと汎用的なクラウドサービスを活用した校務

校務支援システムで取り扱う情報を大きく分けると



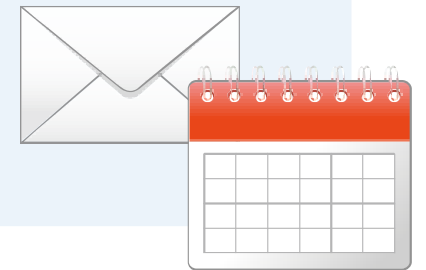
「短期的に目指すべき目標」について - 5

- 既存の校務支援システムで処理すべき校務 **「児童生徒に紐づく情報」**
 - 名簿情報の管理、共有
(氏名、学校名、学年、学級、転学履歴、進学履歴、連絡先、兄弟、部活動など)
 - 出欠情報の管理、共有
(欠席・遅刻・早退の状況、健康観察、不登校、学級閉鎖など)
 - 保健情報の管理、共有
(検診記録、保健室来室、既往歴、アレルギーなど)
 - 生活記録・生徒指導記録の管理、共有
(友人関係、家庭環境、生徒指導履歴など)
 - 成績情報の管理、共有 (評価・評定、所見など)
 - 公簿の作成 (出席簿、指導要録、健康診断票など)

「短期的に目指すべき目標」について - 5

- 汎用的なクラウドサービスを活用すれば足りる校務
「それ以外の情報」

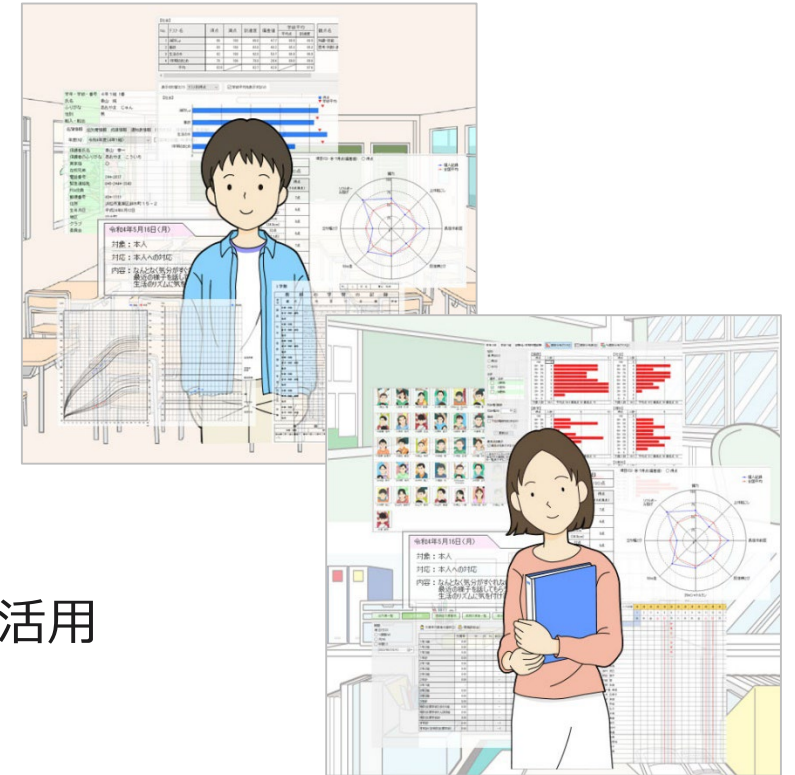
- 教師同士のコミュニケーション → メール、ビジネスチャット
- スケジュール管理、共有 → カレンダー
- 各種定型文書の管理、共有 → ストレージ



「短期的に目指すべき目標」について - 5

● 校務支援システムベンダーだから実現できること

- 法改正や帳票類の様式変更等への迅速な対応
- 進級だけでなく、転入出や小学校から中学校への進学への対応
- 特別支援学級への柔軟な対応
- 取り扱うデータへの配慮
⇒センシティブな内容のデータ管理にも対応
- 複合的なデータの利活用
⇒傾向の把握や迅速な判断を支援
- 学習系データと校務系データのデータ連携
先生や学校設置者だけでなく、子どもたちや保護者もデータを利活用
- 学校や学年・学級単位の集計だけではなく、個々の情報を可視化
⇒子どもたち一人ひとりへのきめ細やかな個別指導を支援



変化する学校現場にあわせて様々なことを専門的に分析や解析をし、安全に効果的なサービスを提供する

「短期的に目指すべき目標」について - 5

● 学校や学年・学級単位の集計だけではなく、個々の情報を可視化

学校や学年・学級単位の集計だけではなく、個々の情報を可視化

学校側 (School Level):

- 出欠席記録 (Attendance Record)
- 日々の様子 (Daily Status)
- テスト(試験)入力 (Test/Exam Input)
- 来室記録 (Arrival Record)

中央サーバー (Central Server):

- 感染症 (Infectious Disease)
- 保健 (Health)
- 生活 (Life)
- 行事 (Events)
- 成績 (Academic Performance)
- 不登校 (Truancy)

個人レベル (Individual Level):

- 教育委員会 (Education Commission)
- 学校管理職 (School Management Staff)

学級担任 (Class Teacher):

学年・学級(G) 表示切り替え(V) [詳細表示なし]

学年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
人数	2	0	1	5	0	0	8

No.	学年	学級	番号	氏名	性別	連続欠席
1	1年	1組	25	島中 蓮	男	8
2	1年	2組	6	小野田 祐司	男	2
3	3年	1組	17	鈴木 仁	男	5
4	4年	1組	8	加藤 修	男	2
5	4年	1組	8	加藤 修	男	5
6	4年	1組	18	近藤 大翔	女	2
7	4年	1組	21	立川 惠美子	女	7
8	4年	2組	8	片山 みか	女	2

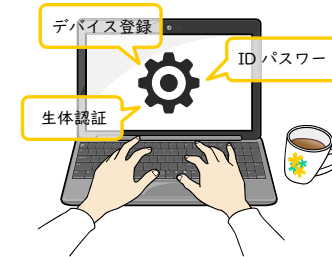
スズキ教育ソフト株式会社

「中期的・段階的に目指すべき方向性」について

アクセス制御によるセキュリティの担保

信頼できる認証基盤を利用する ~ゼロトラストセキュリティの実現~

- サービス毎に利用できる端末、アカウントの制限
- アカウント認証、生体認証
- 認証基盤と連携する校務系、学習系システム

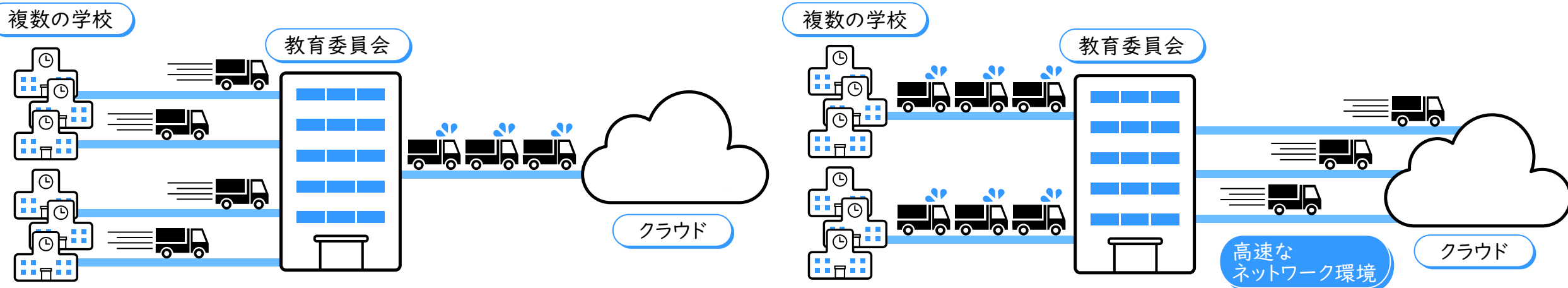


データ連携

- 同じ認証基盤で管理または連携されたシステム間
- 外部のクラウドサービスとの連携
- 本当に連携が必要な情報に限定

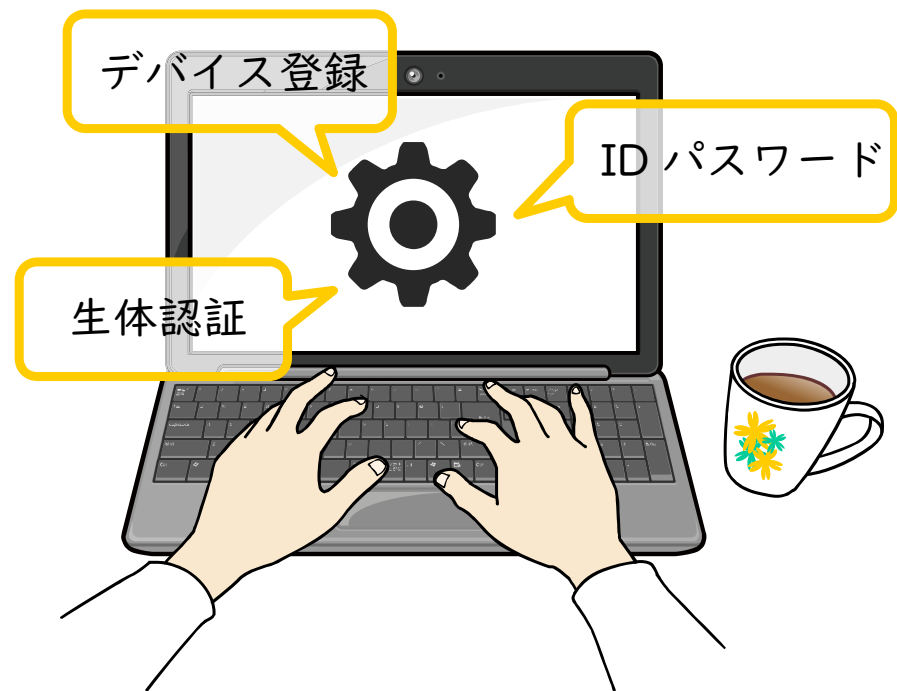
目指す上で障害となりうる事柄について

- クラウド利用に耐えられるネットワーク環境の確保



目指す上で障害となりうる事柄について

- 端末やアカウントの管理など情報セキュリティ意識の向上

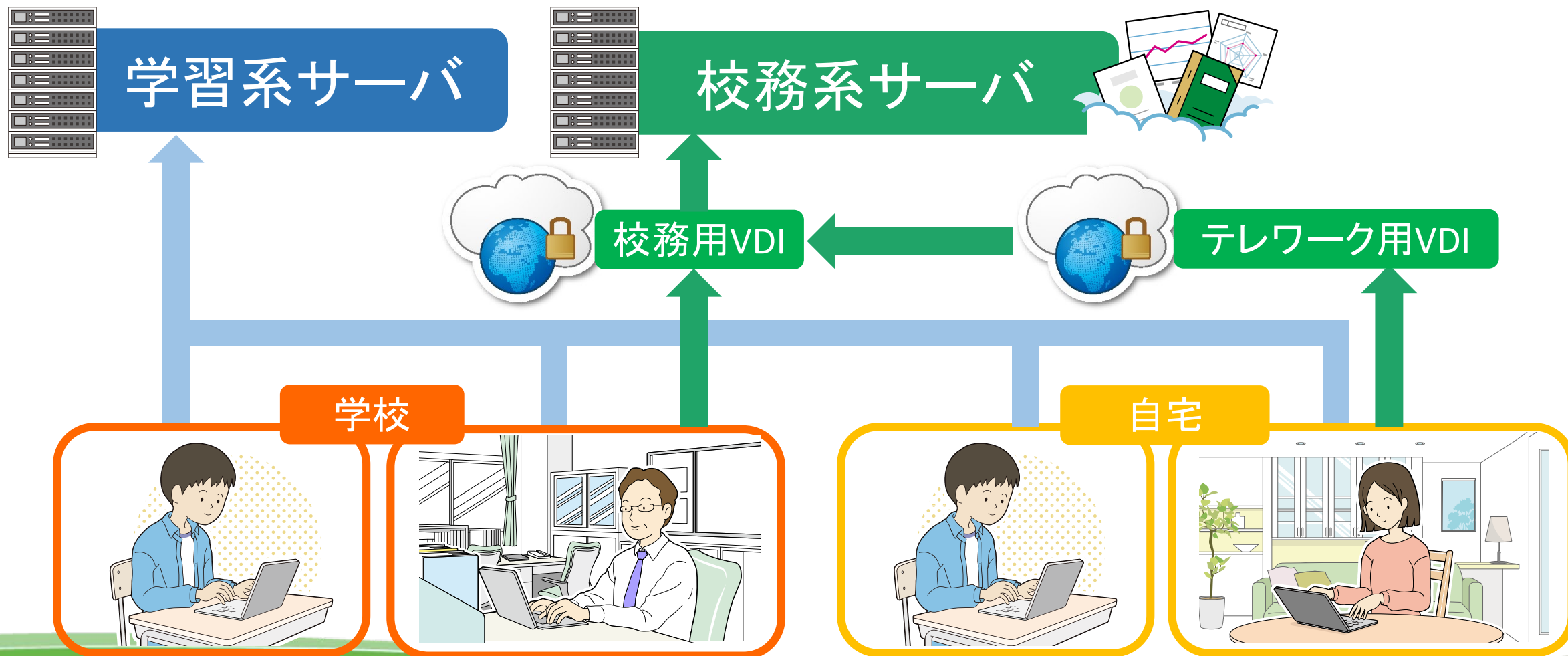


校務支援システムの今後の在り方について

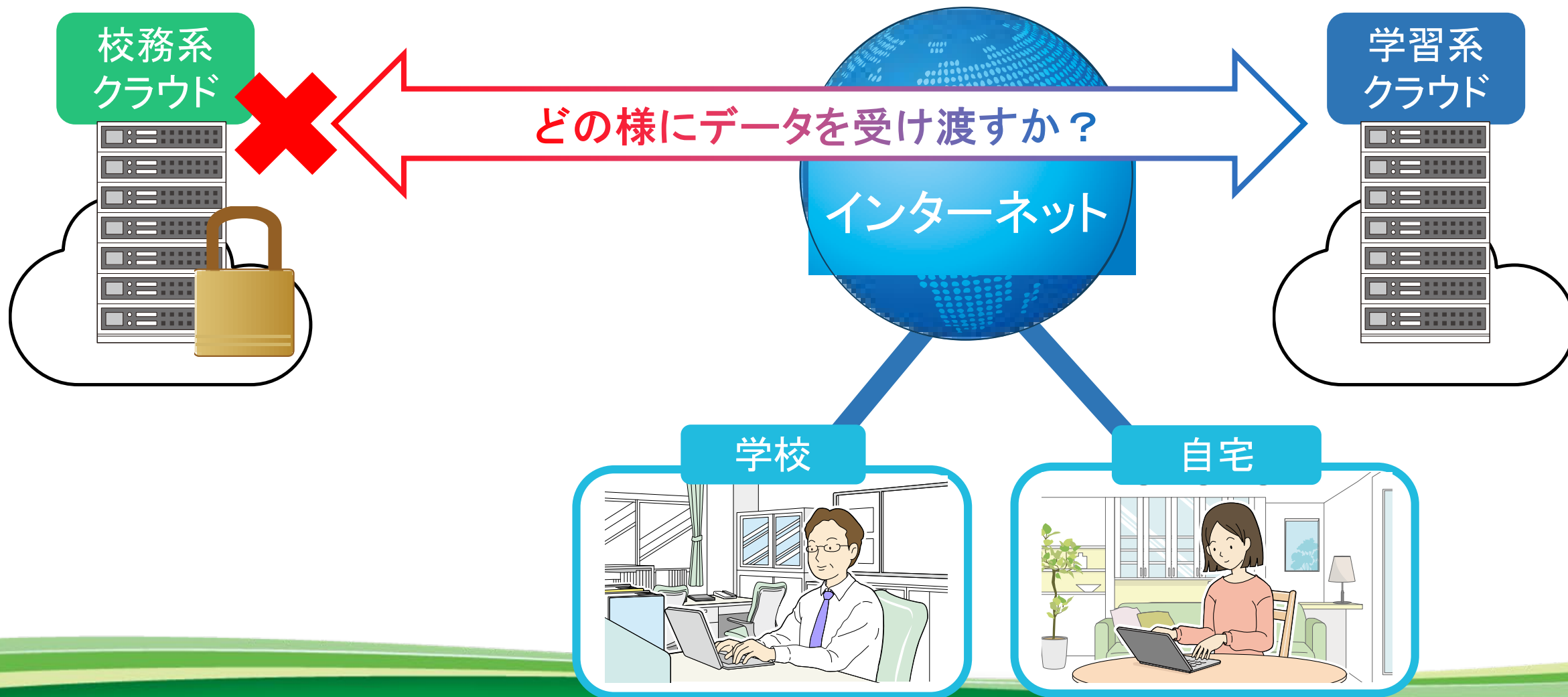
愛媛県 西条市

- クラウド上の閉域に学習系、校務系のシステムを構築
- クラウドと市役所は専用線で接続
- 市役所内に校務用VDI、テレワーク用VDIを構築
- 校務用VDIの認証には アカウント＋顔認証

校務支援システムの今後の在り方について



校務支援システムの今後の在り方について



校務支援システムの今後の在り方について

